

備前市事務事業評価表

事務事業名	観光団体等支援事業		コード	04-03-01-02
			担当課・係	商工観光課 観光係
事業実施期間	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	担当者	岩崎和久
	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり	電話	64-1832(274)
総合計画 事業(政策)体系	小項目(施策)	観光		

事業について	
目的 (何のために)	観光案内サービス、観光PR活動の推進に取り組み団体等に、補助金を交付することにより団体の目的達成のため支援する。また、観光施策の推進のためには民間協力が不可欠である。
対象 (誰・何を対象に)	観光関連団体
内容	備前市観光協会、日生町観光協会、吉永観光協会への補助(観光ボランティア育成事業、観光マップ作成事業、イベント開催事業など)、和意谷史跡保存会、八塔寺ふるさと村運営協議会助成

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
補助団体数	3 団体	5 団体	備前観光協会 193
会員数	426 会員	413 会員	日生 " 110 吉永 " 95 和意谷保存会 6 ふるさと村 9

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	7,864	間接補助金等		直接事業費	7,532	間接補助金等	
	人件費	4,051	受益者負担		人件費	3,377	受益者負担	
			市債				市債	
	合計	11,915	一般財源等	11,915	合計	10,909	一般財源等	10,909

結果指標	必要人員	0.48 人	0.37 人	
	結果指標名	会員数/人口(41,909)	会員数/人口(40,710)	
	結果指標量	1.02%	1.01%	
	単位	%	%	
結果指標	対前年比	100.00%	99.80%	0.00%
	活動にかかるコスト	11,915,000 円	10,909,000 円	
	単位当たりコスト	1,172,173,087 円	1,075,315,714 円	
	結果指標名			
結果指標	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト	円	円	円
単位当たりコスト	円	円	円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	観光団体等の会員の増加		
成果指標名	観光協会等会員の人口比	式又は説明	観光協会等の活動が、会員の増加に繋がり観光振興に結びついているのか? 判断材料として人口比率を用いる
成果指標量	17年度 1.02%	18年度 1.01%	
到達目標値	1.10%	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等	妥当性評価<A-E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	観光協会等は、観光振興を推進していく上で必要な団体である。観光協会は3団体あり、地域性や活動内容に格差があり、また財政力が脆弱であるため、一本化するには母体となりうる団体が見当たらないのが現状である。ただし、備前市の観光窓口として一本化することは、利用者の利便性からも必要であるため、検討しなければならない。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A-E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	補助団体が適正な会計処理を行っているか確認する必要がある。観光協会3団体に補助していること非効率性に疑問が残るが、自主的な活動を行い、社会的認知度が上がり観光PR上問題となるようであれば、統合が全てではない。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	観光協会等は、観光振興を推進していく上で必要な団体である。各団体の現状を考えれば、各団体への補助は有効性があるが、整理統合も含め検討すべき点もある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 1.01%	結果指標量 1.10%

総合評価	今後は、優れた資源を活用し統一されたコンセプトのもとに施策が実施されることが望ましい。ただし、地域性と独自性を生かしつつ、一つの物にまとめることは、非常に困難であり、知名度を低下させることにもなる。早期の統合には危険性も伴うため慎重な検討を要する。	評価区分 <A-E> C
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	活動内容が、観光の発展に繋がるのかどうかを見極める必要がある	随時	効率的な財政支出となる
有効性	観光協会は将来的に統合一本化を行う。	将来	観光窓口の一本化、効率的な運営